

川の自然調べ2013冬 実施報告

[戻る](#)

1. 日時：2013年12月14日（土）8:00～12:30 晴れ微風
2. 調査地点：（目久尻川）久保田橋～相模川合流点まで4区間
（小出川）大曲橋～追出橋までの4区間
3. 調査方法：
 - ①川の自然調べ：歩きながら川の生物、特に川に集まる鳥類を会員の目視で確認した。
 - ②川の水質調査
別途報告します。
4. 参加者：会員11名
5. 調査結果

(1)川の自然調べ

①目久尻川

- ・鳥類⇒アオサギ(2)、アオジ(10)、イソシギ(3)、カイツブリ(6)、カルガモ(141)、カワウ(2)、カワセミ(9)、カワラヒワ(6)、キジバト(20)、キセキレイ(4)、コガモ(24)、コサギ(1)、シジュウカラ(7)、ジョウビタキ(4)、トビ(1)、ハクセキレイ(19)、ヒドリガモ(2)、ヒヨドリ(21)、ホオジロ(13)、マガモ(1)、モズ(3)、スズメ(38)、ムクドリ(9)、ハシボソ/ハシブトガラス(6)、オオバン(2)
- ・野鳥種類(25種)、野鳥個体(352羽)
- ・その他⇒カメ(3)、ナマズ(1)

②小出川

- ・鳥類⇒アオサギ(8)、イソシギ(1)、カルガモ(19)、カワウ(10)、カワセミ(4)、キセキレイ(1)、コガモ(67)、コサギ(17)、ダイサギ(5)、ハクセキレイ(7)、ヒドリガモ(2)、ヒヨドリ(2)、ホオジロ(11)、スズメ(24)、ムクドリ(4)、ハシボソ/ハシブトガラス(4)、オオバン(1)
- ・野鳥種類(18種)、野鳥個体(187羽)

昨年に比べ野鳥個体数が大幅に減少していますが、主にカルガモ、スズメ、ムクドリの観察数が減少したことのようです。
また、今年はタカ類が観察されなかった点が特徴的でした。

参集殿の裏で川の中を泳ぐカメとナマズを見ました。
冬でも冬眠しないカメが居るんですね。また、ナマズは多分産業祭りで展示したものより大きかったと思います。悠然と泳いでいました。

写真3：カワセミ（目久尻川・旭橋付近）



写真1：カルガモ（目久尻川・リサイクルセンター付近）



写真2：モズ（目久尻川・リサイクルセンター付近）



写真4：ホオジロ（目久尻川・旭橋付近）



写真5：オオバン（目久尻川・旭橋付近）



写真6：シジュウカラ（目久尻川・上合橋付近）





写真7：カイツブリ（目久尻川・上合橋付近）



写真8：観察の様子（目久尻川・上合橋付近）



写真9：スズメ（目久尻川・端午橋付近）



写真10：コイの群れ（目久尻川・端午橋付近）



写真11：イソシギ（目久尻川・端午橋付近）



写真12：アオサギ（目久尻川・合流点付近）



写真13：富士山遠景（目久尻川・合流点付近）



写真14：カワウ（小出川・聖天橋付近）



写真 15 : アオサギ (小出川・聖天橋付近)



写真 16 : コサギ (小出川・一ツ橋付近)

